

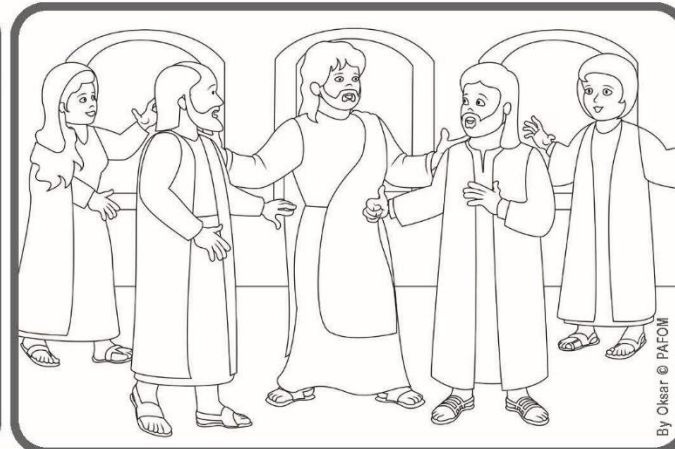
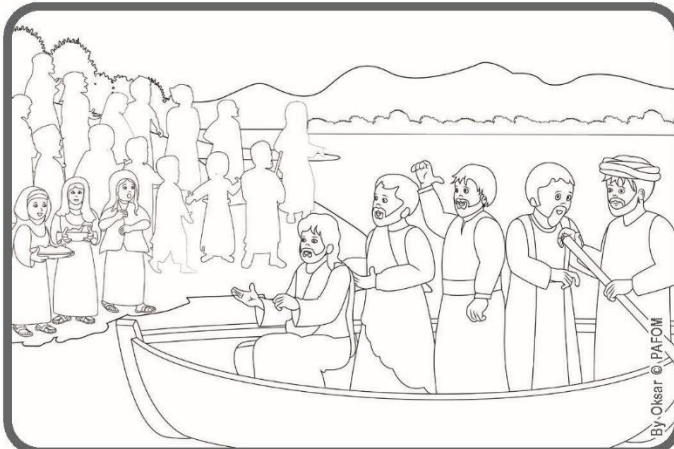
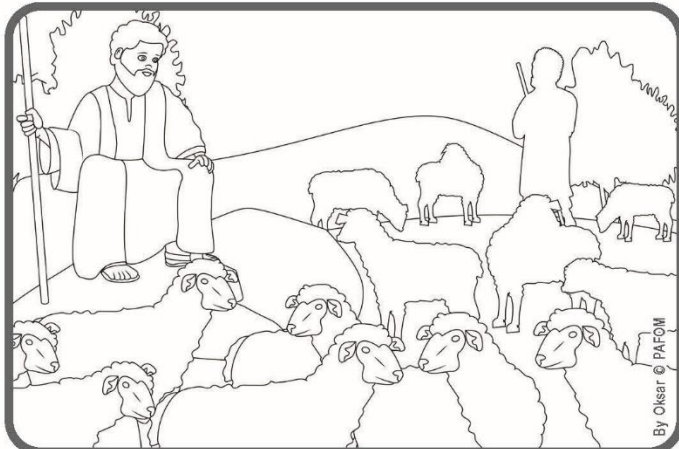
ちかくのひとをたいせつにしよう。



フオコラーレ
focolare.org/japan

しゅはわたしのぼくしゃ、わたしはとぼしいことがない。

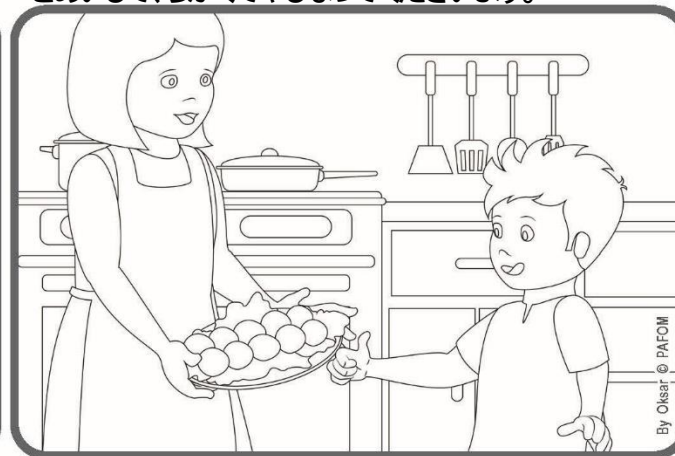
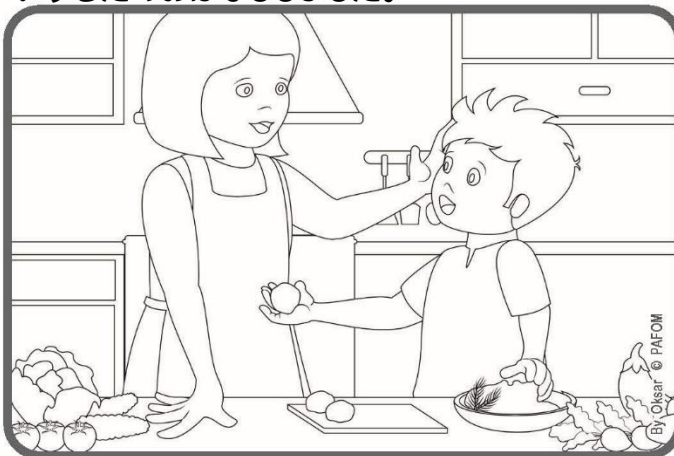
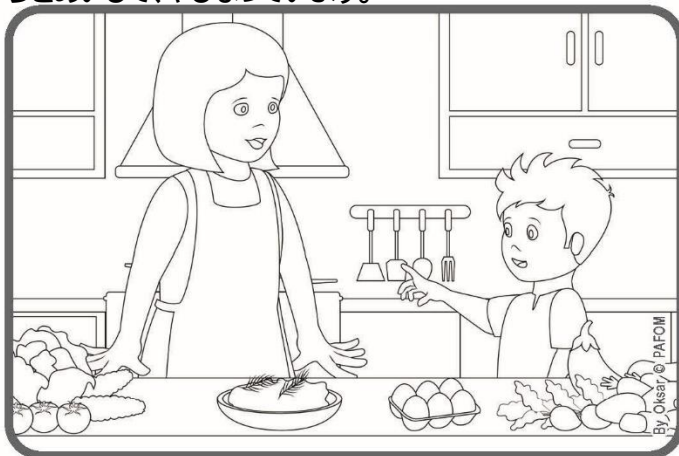
(しへん 23・1)



ひつじかいのもとでたうさんのひつじが、あんしんしてくさをたべています。ひつじかいとはおくのいしにすわって、オオカミがおそってこないか、みまもっています。じぶんのひつじたちをあいして、やんでいます。

イエスさまは、あるひ、みながつかれているのを見て、ふねにのせてやすみにいきました。でも、そこにつくと、たくさんのひとたちがまっていたので、あいするためおはなしました。

こイエスさまはいつもちかくにいってください、わたしたちのことをきにかけてください。わたしたちがみちこまようこと、ひとりぼつとかんじることをのぞかれせん。わたしたちをあいして、ちかくでやなってください。



おやすみのひに、おかあさんはおりょうりをしなければなりません、ちょっとつかれていました。わたしにたてだつてといいました。わたしは「いいよ」といって、ハンバーグをてつだいました。

おかあさんがおしえてくれたことを、はじめました。それをゆうかたづくり、おいしいゆうしょくができました。

おかあさんはとてもよろこんで、もうつかれてないようでした。こんどいっしょにつくるときも、おかあさんは、ざいりょうをまぜるのがにがてなので、つかれさせないようにしようとおもいました。(オランダのダミオン)